

新編国歌大観

第十卷

定数歌編Ⅱ
歌合編Ⅱ
補遺編

歌集

新編 国歌大観

第十卷

定数歌編Ⅱ
歌合編Ⅱ
補遺編

歌集



角川書店

新編国歌大観 第十卷

定数歌編Ⅱ、歌合編Ⅱ、補遺編 歌集

平成四年四月十日 初版発行

平成七年一月三十日 三版発行

編者 「新編国歌大観」編集委員会

発行者 角川歴彦

発行所 株式会社角川書店



東京都千代田区富士見二一三—三 郵便番号 一〇二

振替 〇〇—一三〇—九—一九五二〇八 電話 営業 〇三三八七八五三 編集 〇三三八七八五三

印刷・製本所 凸版印刷株式会社

© Printed in Japan ISBN4-04-021102-2 C3592

落丁・乱丁本はご面倒でも小社角川ブック・サービス宛にお送りください。送料は小社負担でお取り替えます。

凡 例

『新編国歌大観』第十巻は、定数歌編Ⅱ、歌合編Ⅱ、補遺編ⅠⅡから成る。定数歌編Ⅱ、歌合編Ⅱ、補遺編Ⅰ（歌会歌・撰集等）は全文を収録し、補遺編Ⅱ（歌学書・古注釈書等の引用歌、及び物語歌等）の各集・各作品は、和歌・連歌等と作者とを抄出して収めた。

① へ全文収録作品の凡例

① 全文収録の各集・各作品は、原則として、広く一般に流布している系統の中から最善本を選んで底本とした。以下②まではその凡例である。

② 本文作成にあたっては、底本を尊重したが、利用の便をはかつて、以下のような校訂を加えた。

① 底本における和歌・連歌等の本文の偶然的な脱落・衍字・誤写などが他本によって修正しうる場合は校訂を行なった。

② 底本の歌順が明らかに誤りと認められる場合は、他本によって訂正し、その旨を解題に記した。

③ 底本に存するミセケチなどは表示せず、原則として訂正結果に従った。また底本に存する記号・注記・校異の類は、作品成立時、もしくはそれに近い時期に加えられたと判断される場合にのみそのまま残し、他は原則として省略した。

④ 本文が孤本・稀本であるため他本によって校訂本文を作成しえ

ぬ場合は、書写の誤りと見られる部分の右傍に（ママ）と注した。

⑤ 本文が判読しえぬ場合は字数分の□を用いることとし、長文で字数不明の場合は「」によって表示した。

⑥ 本文に和歌・詞書等の脱落があり何行分かの空白がある箇所には、（空白）と表示し、何字分かの空白がある場合は、その部分を「」の記号により表示した。また、蒙求和歌片仮名本平仮名本で、本文に長文の脱落があると推定される箇所は《》の記号により表示した。

⑦ 古筆切・懷紙および錯簡のある本を底本とした作品で、各紙の接続が不明の場合は、次の基準でその間を※ ※によって示した。

⑦ 通具俊成卿女歌合・伝伏見院宸筆判詞歌合は、切ごとに。

① 宝篋印陀羅尼經料紙和歌は、料紙の継ぎ目ごとに。

② 一品経和歌懷紙は、懷紙ごとに。

③ 熊野懷紙は、催行年次・歌題ごとに。

なお、宝篋印陀羅尼經料紙和歌において、各料紙間が、あきらかに接続しているとみられる場合はその箇所を『を挿入し、続けた。

④ 奥書・識語の類は、その集の撰者が自ら書いたと認められるもの

以外は原則として省略した。ただし、撰者以外の奥書・識語は、必要に応じて解題に記した。

④各集の末尾に、主要な異系統本に存する歌を「異本歌」としてかかげた。

①その歌番号は底本巻軸歌に続くように打ち、その異本名と所載巻数等を注記した。

②詞書・作者名等がその歌になく、直前もしくは何首か前のそれをうけるとみなされる場合は（ ）に入れて示した。

⑤各集・各作品ごとに、和歌・連歌・歌謡・漢詩句の別なく、その歌頭（句頭）に通し番号を打った。ただし本文中に、改行等の形で独立表示されているものに限った。

⑥表記は底本のそれをするだけ尊重したが、読みやすさへの配慮から、次のような処置をとった。

①いわゆる変体仮名は普通の平仮名に改めた。

②異体・別体の漢字は通行の字体に統一した。

③仮名遣いは歴史的仮名遣いに統一した。ただし字音語のうち、物名歌など特別の場合は底本通りの表記とした。

④活用語などの漢字表記については、必要に応じて最少限の送り仮名を加えた。

⑤漢字表記の助詞・助動詞は原則として平仮名に改めた。その他特異な宛字で平仮名に改めたものがある。

⑥反復記号は用いなかった。

⑦清濁は区別して示したが、清濁をこえた掛詞として用いられる

ものについては、原則として清音とした。

⑧和歌の難読字にはふり仮名をつけた。

⑨序・判詞・詞書・評語等には適宜読点を打った。

⑩底本の片仮名表記は平仮名に改めた。

⑪以上のほか、底本の形態にかかわらず、例えば和歌は一行書き、長歌は句ごとに一字あきとし、あるいは作者名を原則として一定の位置にそろえるなどの処置をとった。

⑫解題は、その集および底本に関する基本的な事実を述べたほか、重要な校訂箇所などを記すにとどめた。

⑬ 抄出作品の凡例

①補遺編Ⅱにおいては、各集・各作品から、そこに収められている順序に従って、和歌・連歌・歌謡・漢詩句等とその作者とを抜き出して収めた（これを抄出作品などと称する）。以下はこの部分についての凡例である。

②抄出作品は、原則として流布本系の最善本による活字本または複製本を底本とした。ただし、本文の誤脱類や歌順の誤りが他本（写本・板本等を含む）によって見出された場合は校訂を行なった。

③作品に、巻・章・段などのあるものは、その巻名や依拠本文の段数などを記した。

④和歌等の作者名は、各歌の前行に記し、その表記の仕方は次の規準によった。ただし、古今和歌集古注釈書引用和歌・伊勢物

語古注釈書引用和歌・源氏物語古注釈書引用和歌については作者名を省略した。

㉞ 作者名は歌の直前または直後のものを採った。なおその固有名詞に付せられている官位・称号・注記等も採ることを原則とした。

㉟ 作者名が「女」「ある法師」などのように普通名詞的な場合や、「よみ人しらず」などのようにある場合は、それらを作者名として記した。

㊱ 一作品中、同一作者名が別の形で出てきた場合は、次の処置をとった。

(i) その作者名が固有名詞で、作品の途中で改名があった場合、その場その場の名で表記するとともに、一般に知られていると思われる方をその名の下に（ ）に入れて記した。

(ii) その作者名が普通名詞的に表記されていたり、官位等で表わされていて文章の進行に従って変わって行ったりする場合、その作品中の代表的な名を（ ）に入れて記した。

右のいずれの場合も、別の資料や研究によって改めることはなかった。

㊲ 物語などで、歌の前後はもちろん、作中のどこにも作者名が出てこない場合は、㉞の(ii)に示したような、その作品中の代表的な名を（ ）に入れて記した。

㊳ 紀行文等で、その歌の作者がその作品の作者である場合、すなわちその作品の作者が創作してその場面に挿入した歌などの場合は、（作者）と記した。

㊴ 作者名が記されていない場合や読みによっても作者が不明な場合は、歌の前後に**を記した。

㊵ 古今和歌集古注釈書引用和歌・伊勢物語古注釈書引用和歌・源氏物語古注釈書引用和歌については別に定めたところがある。詳しくは解題を参照されたい。

㊶ 右以外は他編と同じ処置（㉞㉟㊱と同）をとった。なお解題は、数項目にしぼって簡潔に記した。

㊷ 索引に関しては索引部凡例を参照されたい。

第十卷 定数歌編Ⅱ、歌合編Ⅱ、補遺編 略称一覧

為家千首	1 為家千	祐茂百首	23 祐茂百	南都百首(兼良)	45 南都百	歌合 建保五年四月廿日	65 建保四
耕雲千首	2 耕雲千	為家一夜百首	24 為家百	世中百首(守武)	46 世中百	右大將家歌合 建保五年八月	
宗良親王千首	3 宗良千	実兼百首	25 実兼百	定家名号七十首	47 定七十		
師兼千首	4 師兼千	為兼鹿百首	26 為兼鹿	七夕七十首(為理)	48 七夕七		
長慶天皇千首	5 長慶千	後二条院百首	27 後二百	国冬五十首	49 国五十		
俊成五社百首	6 俊五社	国冬百首	28 国冬百	尊円親王五十首	50 尊五十	四十番歌合 建保五年十月	67 四十合
為家五社百首	7 為五社	国冬祈雨百首	29 国冬雨	尚賢五十首	51 尚五十	歌合 建保七年二月十一日	68 建十一
安嘉門院四条五百首	8 安五百	国道百首	30 国道百	延明神主和歌	52 延明神	歌合 建保七年二月十二日	69 建十二
宗尊親王三百首	9 宗三百	資広百首	31 資広百	頼阿五十首	53 頼五十	日吉社大宮歌合 承久元年	70 日吉大
法門百首(寂然)	10 法門百	一宮百首(尊良親王)	32 一宮百	山家三番歌合	54 山家三	日吉社十禪師歌合 承久元年	
登蓮恋百首	11 登蓮百	尊円親王詠法華經百首	33 法華百	通具俊成卿女歌合	55 通具合	日吉社撰歌合 寛喜四年	72 日吉撰
俊成祇園百首	12 祇園百	尊円親王百首	34 尊円百	三十六番相撲立詩歌	56 三相撲	日吉社知家自歌合 嘉禎元年	
公衡百首	13 公衡百	徽安門院一条集	35 徽安門	御室撰歌合	57 御室撰	閑窓撰歌合 建長三年	74 閑窓撰
寂蓮無題百首	14 寂無百	等持院百首(尊氏)	36 等持百	内裏歌合	建曆三年八月七日	宗尊親王百五十番歌合 弘長元年	75 宗尊合
寂蓮結題百首	15 寂結百	後普光園院百首(良基)	37 後普百	58 内建八			
朗詠百首(隆房)	16 朗詠百	頼阿百首A	38 頼阿A	歌合 建曆三年八月十二日	59 建曆八	住吉社歌合 弘長三年	76 住吉弘
忠信百首	17 忠信百	頼阿百首B	39 頼阿B	歌合 建曆三年九月十三夜	60 建曆九	玉津島歌合 弘長三年	77 玉津合
道家百首	18 道家百	頼阿句題百首	40 頼阿句	禁裏歌合 建保二年七月	61 禁裏合	住吉社三十五番歌合(建治二年)	
後鳥羽院遠島百首	19 遠島百	宝篋院百首(義詮)	41 宝篋百	月卿雲客妬歌合 建保三年六月		78 住吉建	
土御門院百首	20 土御百	慶運百首	42 慶運百	62 月妬合		十五番歌合(弘安)	79 十五番
順徳院百首	21 順徳百	耕雲百首	43 耕雲百	歌合 建保四年八月廿二日	63 建廿二	和漢名所詩歌合	80 和漢合
長綱百首	22 長綱百	雲窓牘語(耕雲)	44 雲窓牘	歌合 建保四年八月廿四日	64 建廿四	歌合 弘安八年四月	81 弘安八

- 伝伏見院宸筆判詞歌合 82 伏見合
伊勢新名所絵歌合 83 伊勢合
歌合 永仁五年八月十五夜 84 永仁五
歌合(正安元年) 嘉元二年 85 正安合
五種歌合 正安元年 86 五種合
三十番歌合(正安二年) 嘉元元年 87 三十番
金玉歌合 88 金玉合
歌合 正安四年六月十一日 89 正安四
為兼家歌合(乾元二年) 90 為兼合
二十番歌合(嘉元) 徳治 91 二十番
歌合 乾元二年五月 92 乾元二
後二条院歌合 乾元二年七月 93 後二合
永福門院歌合 嘉元三年正月 94 永福嘉
歌合 嘉元三年三月 95 嘉元三
十五番歌合(延慶二年) 応長元年 96 十五延
歌合 伝後伏見院筆(延慶二年) 三年 97 延慶合
詩歌合(正和三年) 98 詩歌合
外宮北御門歌合 元亨元年 99 外宮合
石清水社歌合 元亨四年 100 石清元
比叡社歌合 101 比叡合
源氏物語歌合 102 源氏合
持明院殿御歌合 康永元年十一月四日 103 持明四
持明院殿御歌合 康永元年十一月廿一
日 104 持明康
五十四番詩歌合 康永二年 105 詩歌康
三十番歌合 伝後伏見院筆(貞和末) 106 後伏合
歌合 後光厳院文和之比 107 後光合
守遍詩歌合 108 守遍合
百番歌合(応安三年) 永和二年 109 百番合
仙洞歌合 崇光院(応安三年) 四年 110 崇光合
南朝三百番歌合 建徳二年 111 南朝合
頼阿勝負付歌合 112 頼阿合
三十番歌合(応安五年以前) 113 三十合
詩歌合 文安三年 114 文安合
仙洞歌合 後崇光院 宝徳二年 115 後崇合
武家歌合 康正三年 116 武家合
武州江戶歌合 文明六年 117 武州合
將軍家歌合 文明十四年六月 118 將軍合
歌合 文明十六年十二月 119 文明合
内裏歌合 文龜三年六月十四日 120 文龜合
内裏歌合(天正七年) 121 天正合
三十六人歌合(元暦) 122 三六合
新三十六人撰 正元二年 123 新三撰
女房三十六人歌合 124 女房合
釈教三十六人歌合 125 釈教合
集外三十六歌仙 126 集外仙
東北院職人歌合 五番本 127 職五番
東北院職人歌合 十二番本 128 職十二
鶴岡放生会職人歌合 129 鶴岡放
三十二番職人歌合 130 三十二職
七十一番職人歌合 131 七十一職
宝篋印陀羅尼経料紙和歌 132 陀羅歌
一品経和歌懷紙 133 一品経
熊野懷紙 134 熊野懷
建仁元年十首和歌 135 建十首
建保六年八月中殿御会 136 建保会
道助法親王家五十首 137 道五十
詠十首和歌 138 詠十首
宝治元年後嵯峨院詠翫花和歌 139 詠翫花
二十八品並九品詩歌 140 二八品
正嘉三年北山行幸和歌 141 北山行
弘長三年二月十四日龜山殿御会 142 龜山会
白河殿七百首 143 白七百
現存卅六人詩歌 144 現卅六
正応二年三月和歌御会 145 正二合
正応三年九月十三夜歌会歌 146 正三合
正応五年厳島社頭和歌 147 厳島社
永仁元年内裏御会 148 永仁会
詠五十首和歌(金沢文庫) 149 詠五十
和歌詠草(金沢文庫) 150 和歌詠
花十首寄書 151 花十首
正和四年詠法華経和歌 152 法華歌
元応二年八月十五夜月十首 153 元十首
龜山殿七百首 154 龜七百
正中三年禁庭御会和歌 155 正中会
北野宝前和歌(元徳二年) 156 北野宝
元徳二年七夕御会 157 元七夕
元徳二年八月一日御会 158 元徳会
朝棟亭歌会 159 朝棟会
建武三年住吉社法楽和歌 160 建住吉
北野社百首和歌(建武三年) 161 北野百
暦応二年春日奉納和歌 162 暦春日
持明院殿御会和歌 163 持明会
金剛三昧院奉納和歌 164 金剛奉
玄恵追善詩歌 165 玄恵追
為世十三回忌和歌 166 為世忌

經旨和歌 167 經旨歌	朗詠題詩歌 184 朗詠題	了俊歌學書 203 了俊歌	筑紫道記 220 筑紫道
正平二十年三百六十首 168 正三百	三百六十首和歌 185 三百六	了俊日記 204 了俊日	ふち河の記 221 ふち河
貞治六年二月廿一日和歌御会	大嘗会悠紀主基和歌 186 大嘗会	冷泉家和歌秘々口伝 205 冷口伝	吉野拾遺 222 吉野拾
貞治六年三月廿九日歌会 170 貞三會	極楽願往生和歌 187 極楽願	歌林良材 206 歌林良	なよ竹物語絵巻 223 なよ竹
169 貞二會	蒙求和歌 片仮名本 188 蒙求片	和歌深秘抄 207 深秘抄	あきぎり 224 あきぎ
蒙求和歌 平仮名本 189 蒙求平	百詠和歌 190 百詠歌	筆のまよひ 208 筆まよ	海人の刈藻 225 刈藻
応安二年内裏和歌 171 応安内	法隆寺宝物和歌 191 法隆寺	僻案抄 209 僻案抄	風に紅葉 226 風紅葉
大山祇神社百首和歌 172 大山祇	佚名歌集(徳川美術館) 192 佚名歌集	古今和歌集古注釈書引用和歌 210 古今注	雲隠六帖 別本 227 雲隠
熱田本日本書紀紙背懷紙和歌 173 熱田歌	佚名歌集(徳久邇文庫) 193 佚名歌集	伊勢物語古注釈書引用和歌 211 伊勢注	雲隠六帖 別本 228 雲隠別
隱岐高田明神百首 174 隱岐高	荒木田永元集 194 永元	源氏物語古注釈書引用和歌 212 源氏注	雲に濁る 229 雲に濁
畠山匠作亭詩歌 175 畠山匠	伏見院御集 冬部 195 伏見冬	六花集注 213 六花注	白露 230 白露
言葉集 176 言葉	色葉和難集 196 色葉和	太神宮参詣記 214 太神宮	葉月物語絵巻 231 葉月絵
定家八代抄 177 定家八	和歌会次第 197 会次第	小島の口ずさみ 215 小島	松陰中納言物語 232 松陰中
八代集秀逸 178 八代秀	蓮性陳狀 198 蓮性陳	道行触 216 道行触	むぐら 233 むぐら
正風体抄 179 正風体	勅撰作者部類付載作者異議 199 勅撰作	鹿苑院殿嚴島詣記 217 鹿苑院	八重葎 234 八重
五代集歌枕 180 五代枕	和歌密書 200 和歌密	都のつと 218 都つと	八重葎 別本 235 八重別
歌枕名寄 181 歌枕名	和歌灌頂次第秘密抄 201 和歌灌	なぐさめ草 219 なぐ草	夢の通路 236 夢通路
飛月集 182 飛月	玉伝集和歌最頂 202 玉伝和		
高良玉垂宮神秘書紙背和歌 183 高良玉			

第十卷 定数歌編Ⅱ、歌合編Ⅱ、補遺編 目次

(歌集ページ) (解題ページ)

定数歌編Ⅱ

為家千首 (書陵部藏五〇一・一四一)	一五	二〇八九
耕雲千首 (書陵部藏五〇八・二〇七)	二四	二〇九〇
宗良親王千首 (群書類従本)	四四	二〇九二
師兼千首 (書陵部藏五〇一・七七二)	六四	二〇九四
長慶天皇千首 (書陵部藏谷・一七四)	八三	二〇九四
俊成五社百首 (書陵部藏五〇一・七六三)	八七	二〇九五
為家五社百首 (書陵部藏五〇一・八八)	九七	二〇九五
安嘉門院四条五百首 (島原松平文庫藏本)	一〇八	二〇九五
宗尊親王三百首 (天理図書館藏本)	一八	二〇九六
法門百首 (寂然) (彰考館藏本)	一三四	二〇一
登蓮恋百首 (静嘉堂文庫藏統群書類従本)	一三三	二〇三
俊成祇園百首 (谷山茂氏藏本)	一三三	二〇三
公衡百首 (「定家珠芳」所収本*)	一三五	二〇三
寂蓮無題百首 (広島大国文学研究室藏本)	一三七	二〇三
寂蓮結題百首 (書陵部藏五〇一・一五二)	一三八	二〇四
朗詠百首 (隆房) (群書類従本)	一四〇	二〇四
忠信百首 (彰考館藏本)	一四二	二〇五
道家百首 (書陵部藏五〇三・二四四)	一四三	二〇五

後鳥羽院遠島百首 (国立国会図書館藏本)	一四四	二〇五
土御門院百首 (書陵部藏一五一・一八一)	一四五	二〇六
順徳院百首 (書陵部藏一五一・一八一)	一四九	二〇七
長綱百首 (島原松平文庫藏本)	一五一	二〇八
祐茂百首 (国立歴史民俗博物館藏本*)	一五四	二〇九
為家一夜百首 (永青文庫藏本)	一五六	二〇九
実兼百首 (尊経閣文庫藏本)	一五八	二〇九
為兼鹿百首 (書陵部藏二〇六・七二五)	一六〇	二一〇
後二条院百首 (内閣文庫藏本)	一六三	二一一
国冬百首 (京都大附属図書館藏本)	一六四	二一二
国冬祈雨百首 (穂久邇文庫藏本)	一六六	二一二
国道百首 (成城大図書館藏本)	一六八	二一三
資広百首 (書陵部藏五〇一・二六四)	一七〇	二一三
一宮百首 (尊良親王) (尊経閣文庫藏本)	一七一	二一四
尊円親王詠法華經百首 (内閣文庫藏本)	一七三	二一四
尊円親王百首 (書陵部藏特・五六)	一七五	二一四
徽安門院一条集 (尊経閣文庫藏本)	一七七	二一六
等持院百首 (尊氏) (内閣文庫藏本)	一七八	二一六
後普光園院百首 (良基) (京都女子大附属図書館藏本)	一七九	二一六
頓阿百首 A (有吉保氏藏本)	一八一	二一七

頓阿百首B (書陵部藏二六五・一〇五)	一八三	二二八
頓阿句題百首 (彰考館藏本)	一八四	二二八
宝篋院百首 (義詮) (高城功夫氏藏本)	一九四	二二九
慶運百首 (神宮文庫藏本)	一九六	二二〇
耕雲百首 (彰考館藏本)	一九八	二二〇
雲窓贅語 (耕雲) (穗久邇文庫藏本)	二〇〇	二二二
南都百首 (兼良) (内閣文庫藏本)	二〇二	二二二
世中百首 (守武) (神宮徴古館藏本)	二〇四	二二二
定家名号七十首 (冷泉家時雨亭文庫藏本)	二〇六	二二三
七夕七十首 (為理) (群書類従本)	二〇七	二二三
国冬五十首 (書陵部藏特・七七)	二〇八	二二三
尊円親王五十首 (書陵部藏五〇三・二五四)	二〇九	二二三
尚賢五十首 (書陵部藏四一五・三四一)	二一〇	二二三
延明神主和歌 (神宮文庫藏本)	二一二	二二四
頓阿五十首 (齋藤彰氏藏本)	二二三	二二四
歌合編Ⅱ		
山家三番歌合 (国立歴史民俗博物館藏本)	二二五	二二四
通具俊成卿女歌合 (古筆断簡*)	二二五	二二四
三十六番相撲立詩歌 (島原松平文庫藏本)	二二七	二二五
御室撰歌合 (永青文庫藏本)	二二八	二二五
内裏歌合 建曆三年八月七日 (尊経閣文庫藏本)	二三三	二二六
歌合 建曆三年八月十二日 (三手文庫藏本)	三四	二二六
歌合 建曆三年九月十三夜 (内閣文庫藏本)	三四	二二六

禁裏歌合 建保二年七月 (内閣文庫藏本)	三三五	二二六
月卿雲客妬歌合 建保三年六月 (内閣文庫藏本)	三三六	二二七
歌合 建保四年八月廿二日 (永青文庫藏本)	三七	二二七
歌合 建保四年八月廿四日 (永青文庫藏本)	三〇	二二七
歌合 建保五年四月廿日 (内閣文庫藏本)	三三	二二七
右大将家歌合 建保五年八月 (内閣文庫藏本)	三三三	二二八
四十番歌合 建保五年十月 (書陵部藏五〇一・六一四)	三四	二二八
歌合 建保七年二月十一日 (内閣文庫藏本)	三三六	二二八
歌合 建保七年二月十二日 (内閣文庫藏本)	三八	二二八
日吉社大宮歌合 承久元年 (ノートルダム 清心女子大蔵本)	三九	二二八
日吉社十禅師歌合 承久元年 (ノートルダム 清心女子大蔵本)	四〇	二二八
日吉社撰歌合 寛喜四年 (書陵部藏五〇一・五五三)	四一	二二九
日吉社知家自歌合 嘉禎元年 (神宮文庫藏本)	四三	二二九
閑窓撰歌合 建長三年 (群書類従本)	四五	二二九
宗尊親王百五十番歌合 弘長元年 (尊経閣文庫藏本)	四七	二二九
住吉社歌合 弘長三年 (書陵部藏五〇一・五五三)	四五	二二九
玉津島歌合 弘長三年 (書陵部藏五〇一・五五三)	五五	二二九
住吉社三十五番歌合 (建治二年) (京都府立総合 資料館藏本)	五八	二二九
十五番歌合 (弘安) (尊経閣文庫藏実躬卿記紙背)	六〇	二二九
和漢名所詩歌合 (書陵部藏五〇一・五二六)	六二	二二九
歌合 弘安八年四月 (刈谷市中央図書館藏本)	六四	二二九
伝伏見院宸筆判詞歌合 (古筆断簡*)	六六	二二九
伊勢新名所絵歌合 (神宮文庫藏本、神宮徴古館藏本)	六六	二二九
歌合 永仁五年八月十五夜 (内閣文庫藏本)	七〇	二二九

歌合（正安元年～嘉元二年）（書陵部藏五〇一・五五三）	二七三	二三四
五種歌合 正安元年（島原松平文庫藏本）	二七三	二三四
三十番歌合（正安二年～嘉元元年）（群書類従本）	二七五	二三四
金玉歌合（書陵部藏五〇一・五八）	二七八	二三四
歌合 正安四年六月十一日（書陵部藏五〇一・五一五）	二八〇	二三五
為兼家歌合（乾元二年）（書陵部藏五〇一・五五三）	二八一	二三五
二十番歌合（嘉元～徳治）（書陵部藏五〇一・五三七）	二八三	二三五
歌合 乾元二年五月（内閣文庫藏本）	二八四	二三六
後二条院歌合 乾元二年七月（書陵部藏特・六七）	二八七	二三六
永福門院歌合 嘉元三年正月（内閣文庫藏本）	二八八	二三七
歌合 嘉元三年三月（神宮文庫藏本）	二八九	二三七
十五番歌合（延慶二年～応長元年）（尊経閣文庫藏本）	二九〇	二三七
歌合 伝後伏見院筆（延慶二年～三年）	二九〇	二三七
（徳川黎明会藏本）	二九一	二三七
詩歌合（正和三年）（書陵部藏五〇一・六二七）	二九三	二三七
外宮北御門歌合 元亨元年（龍谷大図書館藏本）	二九五	二三八
石清水社歌合 元亨四年（久保田淳氏藏本）	二九六	二三八
比叡社歌合（志香須賀文庫藏本）	三〇一	二二九
源氏物語歌合（書陵部藏五〇一・八五）	三〇五	二二九
持明院殿御歌合 康永元年十一月四日	三〇五	二二九
（書陵部藏五〇一・五五三）	三一	二二九
持明院殿御歌合 康永元年十一月廿一日	三一	二二九
（書陵部藏五〇一・五五三）	三三	二二九
五十四番詩歌合 康永二年（内閣文庫藏本）	三三五	二四〇

三十番歌合 伝後伏見院筆（貞和末）（静嘉堂文庫藏本）	三七	二四一
歌合 後光厳院文和之比（内閣文庫藏本）	三九	二四一
守遍詩歌合（書陵部藏五〇一・五八二）	三三〇	二四三
百番歌合（応安三年～永和二年）（書陵部藏伏・一八）	三三三	二四三
仙洞歌合 崇光院（応安三年～四年）（国立歴史民俗博物館藏本）	三三四	二四三
南朝三百番歌合 建徳二年（祐徳稲荷神社中川文庫藏本）	三七	二四三
頓阿勝負付歌合（島原松平文庫藏本）	三三三	二四四
三十番歌合（応安五年以前）（書陵部藏五〇一・七四）	三三四	二四五
詩歌合 文安三年（内閣文庫藏本）	三三六	二四五
仙洞歌合 後崇光院 宝徳二年（書陵部藏五〇一・五四五）	三三九	二四五
武家歌合 康正三年（尊経閣文庫藏本）	三四八	二四六
武州江戸歌合 文明六年（内閣文庫藏本）	三四九	二四六
將軍家歌合 文明十四年六月（国立国会図書館藏本）	三五〇	二四六
歌合 文明十六年十二月（三康図書館藏本）	三五六	二四七
内裏歌合 文龜三年六月十四日（島原松平文庫藏本）	三六五	二四七
内裏歌合（天正七年）（彰考館藏本）	三六九	二四七
三十六人歌合（元暦）（書陵部藏五〇一・五三〇）	三七一	二四八
新三十六人撰 正元二年（静嘉堂文庫藏本）	三七三	二四八
女房三十六人歌合（志香須賀文庫藏本）	三七七	二四九
釈教三十六人歌合（早大図書館藏本）	三七八	二四九
集外三十六歌仙（大東急記念文庫藏本）	三八〇	二五〇
東北院職人歌合 五番本（東京国立博物館藏本*）	三八一	二五一
東北院職人歌合 十二番本（陽明文庫藏本）	三八三	二五一
鶴岡放生会職人歌合（松下幸之助氏藏本*）	三八四	二五三

補遺編 I

三十二番職人歌合(天理図書館蔵本)	三六五	正和四年詠法華經和歌(書陵部蔵管見記卷一六所収本)	四五三
七十一番職人歌合(尊経閣文庫蔵本)	三八九	元応二年八月十五夜月十首(書陵部蔵伏・五七六)	四五五
宝篋印陀羅尼經料紙和歌(金剛寺蔵本*)	四〇一	龜山殿七百首(書陵部蔵五〇一・八四八)	四五六
一品經和歌懷紙(古筆断簡*)	四〇二	正中三年禁庭御会和歌(立教大日本文学研究室蔵本)	四七〇
熊野懷紙(古筆断簡*)	四〇三	北野宝前和歌(元徳二年)(内閣文庫蔵本)	四七一
建仁元年十首和歌(有吉保氏蔵本)	四〇六	元徳二年七夕御会(書陵部蔵一五〇・六八五)	四七二
建保六年八月中殿御会(有吉保氏蔵本)	四〇八	元徳二年八月一日御会(書陵部蔵五〇一・三七八)	四七四
道助法親王家五十首(国立歴史民俗博物館蔵本)	四〇九	朝棟亭歌会(神宮文庫蔵本)	四七五
詠十首和歌(国立歴史民俗博物館蔵本)	四二	建武三年住吉社法楽和歌(尊経閣文庫蔵本)	四七七
宝治元年後嵯峨院詠翫花和歌(静岡県立美術館蔵本)	四三四	北野社百首和歌(建武三年)(書陵部蔵四五八・一)	四八〇
二十八品並九品詩歌(慶応大斯道文庫蔵本)	四三四	曆応二年春日奉納和歌(徳久邇文庫蔵本)	四八二
正嘉三年北山行幸和歌(書陵部蔵伏・四九四)	四三六	持明院殿御会和歌(刈谷市中央図書館蔵本)	四八四
弘長三年二月十四日龜山殿御会(有吉保氏蔵本)	四三七	金剛三昧院奉納和歌(尊経閣文庫蔵本)	四八五
白河殿七百首(内閣文庫蔵本)	四三八	玄恵追善詩歌(書陵部蔵二一〇・七一五)	四八七
現存卅六人詩歌(慶応大斯道文庫蔵本)	四四三	為世十三回忌和歌(東大史料編纂所蔵本)	四八八
正応二年三月和歌御会(彰考館蔵本)	四四三	経旨和歌(書陵部蔵統群書類従本)	四九一
正応三年九月十三夜歌会歌(神宮文庫蔵本)	四四四	正平二十年三百六十首(三康図書館蔵本)	四九三
正応五年嚴島社頭和歌(書陵部蔵統群書類従本)	四四五	貞治六年二月廿一日和歌御会(書陵部蔵五〇一・三七八)	五〇一
永仁元年内裏御会(書陵部蔵五〇一・三三九)	四四六	貞治六年三月廿九日歌会(島原松平文庫蔵本)	五〇一
詠五十首和歌(金沢文庫)(金沢文庫蔵本)	四四八	応安二年内裏和歌(神宮文庫蔵本)	五〇二
和歌詠草(金沢文庫)(金沢文庫蔵本)	四四九	大山祇神社百首和歌(大山祇神社蔵本)	五〇三
花十首寄書(書陵部蔵五〇一・三八〇)	四五〇	熱田日本書紀紙背懷紙和歌(熱田神宮宝物館蔵本)	五〇五
		隱岐高田明神百首(高田神社蔵本)	五〇七
		畠山匠作亭詩歌(国立歴史民俗博物館蔵本)	五〇九
			一一七三

言葉集（冷泉家時雨亭文庫蔵本）	五二	二七四
定家八代抄（書陵部蔵二一〇・六七四）	五九	二七六
八代集秀逸（書陵部蔵五〇一・一五九）	五三	二八〇
正風体抄（東大国文学研究室蔵本）	五五	二八〇
五代集歌枕（日本歌学大系）	五七	二八〇
歌枕名寄（万治二年板本）	六〇五	二八三
飛月集（三手文庫蔵本）	八四	二八六
高良玉垂宮神秘書紙背和歌（高良大社蔵本）	八四	二八七
朗詠題詩歌（書陵部蔵統群書類従本）	八五	二八八
三百六十首和歌（島原松平文庫蔵本）	八五	二八八
大嘗会悠紀主基和歌（書陵部蔵五〇二・一五）	八六	二八九
極楽願往生和歌（東京国立博物館蔵本*）	九〇	二九〇
蒙求和歌 片仮名本（国立国会図書館蔵本）	九〇	二九〇
蒙求和歌 平仮名本（内閣文庫蔵本）	九八	二九〇
百詠和歌（内閣文庫蔵本）	九八	二九三
法隆寺宝物和歌（早大図書館蔵本）	九六	二九六
佚名歌集（徳川美術館）（徳川黎明会蔵本）	九六	二九六
佚名歌集（穂久邇文庫）（穂久邇文庫蔵本）	九六	二九七
荒木田永元集（根津美術館蔵本）	九六	二九七
伏見院御集 冬部（有吉保氏蔵本）	九六	二九八
補遺編Ⅱ		
色葉和難集	九六	二九八
和歌会次第	九八	二九八

蓮性陳状	九三	二九八
勅撰作者部類付載作者異議	九三	二九八
和歌密書	九三	二九八
和歌灌頂次第秘密抄	九四	二九八
玉伝集和歌最頂	九四	二九八
了俊歌学書	九五	二九八
了俊日記	九七	二九八
冷泉家和歌秘々口伝	九八	二九八
歌林良材	九八	二九八
和歌深秘抄	一〇一	二九八
筆のまよひ	一〇三	二九八
僻案抄	一〇三	二九八
古今和歌集古注釈書引用和歌	一〇四	二九八
伊勢物語古注釈書引用和歌	一〇八	二九八
源氏物語古注釈書引用和歌	一〇六	二九八
六花集注	一〇五	二九八
太神宮参詣記	一〇六	二九八
小島の口ずさみ	一〇六	二九八
道行触	一〇六	二九八
鹿苑院殿嚴島詣記	一〇六	二九八
都のつと	一〇六	二九八
なぐさめ草	一〇五	二九八
筑紫道記	一〇六	二九八
ふぢ河の記	一〇七	二九八

目次

吉野拾遺……………	一〇六九	一九九
なよ竹物語絵巻……………	一〇七〇	一九九
あきぎり……………	一〇七〇	一九九
海人の刈藻……………	一〇七二	一九九
風に紅葉……………	一〇七四	一九九
雲隠六帖……………	一〇七六	一九九
雲隠六帖 別本……………	一〇七七	一九九
雫に濁る……………	一〇七八	一九九
白露……………	一〇七八	一九九

葉月物語絵巻……………	一〇七九	一九九
松陰中納言物語……………	一〇七九	二〇〇
むぐら……………	一〇八二	二〇〇
八重葎……………	一〇八三	二〇〇
八重葎 別本……………	一〇八三	二〇〇
夢の通路……………	一〇八四	二〇〇
全十巻収載作品一覧……………	二〇四	二〇四

*印 影印・複製による

新編国歌大観

第十卷

定数歌編Ⅱ、

歌合編Ⅱ

歌集

